

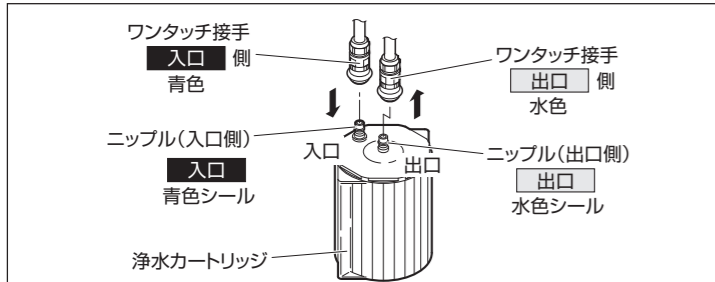
浄水カートリッジ M715P-1

取扱説明書

- ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

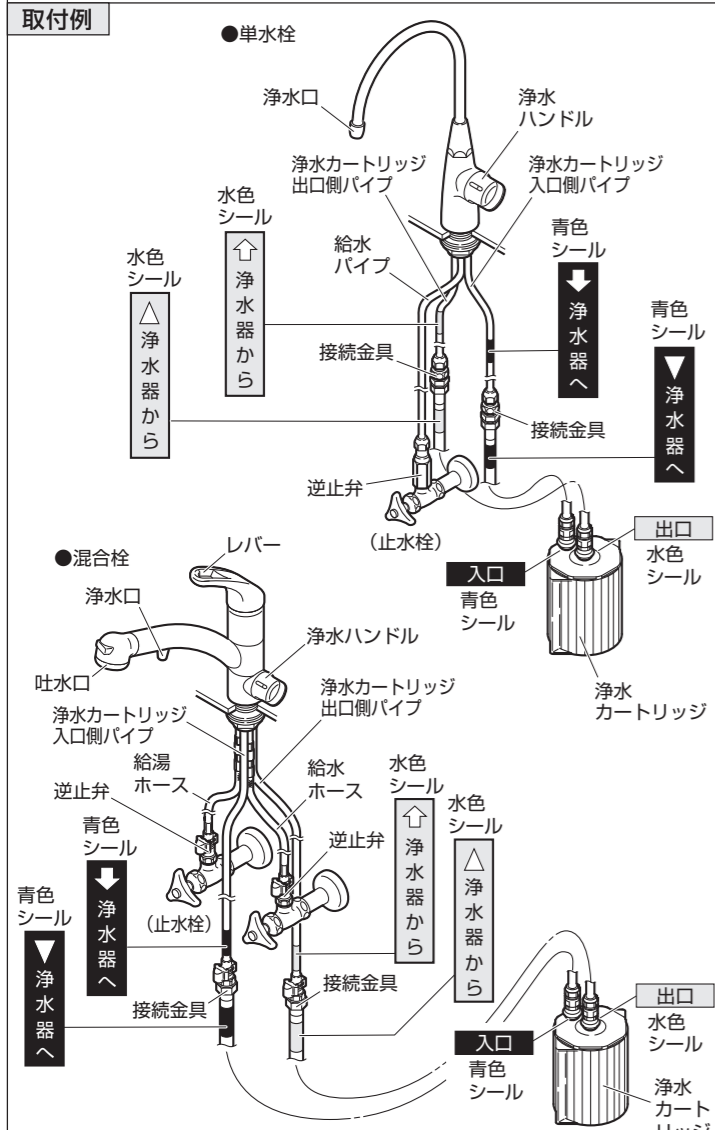
本製品について 各部の名称

- 「中空糸膜」と「活性炭」によるろ材でおいしい水が利用できます。
- コンパクトなアンダーシンクタイプなので、浄水カートリッジの設置場所が広く使用できます。



ろ過できる成分

- 「活性炭」
活性炭が遊離残留塩素や溶解性鉛、気になる臭いを除去します。
●遊離残留塩素
●溶解性鉛
●カルキ臭、カビ臭
- 「中空糸膜」
中空糸膜が濁りを除去します。
●細かい微粒子(濁り)



施工・ご使用について 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ …… 「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)

⊘ …… 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

🔧 …… 「分解してはいけません!」

📢 …… 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

施工上の注意事項 取付前に

- ⚠ **注意**
水道水の水質基準に適合した水をお使いください。体調を損なうおそれがあります。
- 🔧 分解、改造はしないでください。浄水カートリッジおよび水栓にかかわる修理に関しては、修理技術者以外には行わないでください。故障や破損、ケガの原因になります。
- ⊘ 35℃以上の温水は通水しないでください。変形や故障の原因になります。
- ⊘ 水圧が浄水カートリッジに直接かかる配管方法(先止め式配管、浄水器I形配管)は行わないでください。水圧による破損、漏水のおそれがあります。
- ⚠ 凍結しない場所に設置してください。凍結のおそれがある場合は凍結予防の措置をとってください。凍結による破損、漏水のおそれがあります。
- ⊘ 熱源などの近くに設置しないでください。熱による破損、漏水のおそれがあります。
- ⊘ 浄水カートリッジにつながるホースは極度に折り曲げないでください。十分な流量が出ない場合は、水圧による破損、漏水のおそれがあります。
- ⚠ 施工完了後は必ず水もれがないか確認してください。漏水により家財をぬらすおそれがあります。

施工上の注意事項 浄水の扱いについて

- ⊘ **注意**
浄水を養魚用途には使用しないでください。残留塩素除去が不十分の時、魚が死ぬおそれがあります。

施工上の注意事項 清潔に保つために

- ⊘ **注意**
浄水口には直接手や布巾で触れないでください。

施工上の注意事項 浄水カートリッジを大切にしたいために

浄水カートリッジやホースの寿命が短くなるおそれがありますので下記事項をお守りください。

- ⚠ **注意**
水量が多すぎる場合、流し台下の止水栓で水量を調節してください。
- ⚠ 浄水カートリッジ接続の際は入口と出口を間違えないようにご注意ください。十分な性能が得られなくなったり、破損するおそれがあります。

使用上の注意事項 使用前に

- ⚠ **注意**
水道水の水質基準に適合した水をお使いください。体調を損なうおそれがあります。
- 🔧 分解、改造はしないでください。浄水カートリッジおよび水栓にかかわる修理に関しては、修理技術者以外には行わないでください。故障や破損、ケガの原因になります。
- ⊘ 35℃以上の温水は通水しないでください。変形や故障の原因になります。
- ⊘ 水圧が浄水カートリッジに直接かかる配管方法(先止め式配管、浄水器I形配管)は行わないでください。水圧による破損、漏水のおそれがあります。
- ⚠ 凍結しない場所に設置してください。凍結のおそれがある場合は凍結予防の措置をとってください。凍結による破損、漏水のおそれがあります。
- ⊘ 熱したフライパンや、やかんなどは近づけないでください。熱による破損、漏水のおそれがあります。
- ⚠ 漂白剤など薬品を浄水カートリッジのそばに置く場合は栓をしっかり締めてください。揮発した薬品による破損、漏水のおそれがあります。
- ⊘ 浄水カートリッジにつながるホースは極度に折り曲げないでください。十分な流量が出ない場合は、水圧による破損、漏水のおそれがあります。

使用上の注意事項 浄水の扱いについて

- ⚠ **注意**
浄水は速やかにご使用ください。基準値以上の一般細菌が繁殖するおそれがあります。
- ⊘ 浄水を養魚用途には使用しないでください。残留塩素除去が不十分の時、魚が死ぬおそれがあります。

使用上の注意事項 清潔に保つために

- ⚠ **注意**
基準値以上の一般細菌が繁殖するおそれがありますので下記事項をお守りください。
- ⚠ 毎日使い始めに約10秒以上捨て水をしてください。
- ⚠ 2日以上使用されなかった場合は、ご使用前に約3分以上捨て水をしてください。
- ⚠ 半月以上使用にならなかった場合は、浄水カートリッジの交換をおすすめします。
- ⚠ 浄水口は常に清潔な状態を保つよう心がけてください。特に跳び返りなどで汚れが付着した場合は速やかに清掃してください。
- ⚠ 浄水口の清掃は週に1回程度、熱湯消毒などを行った清潔な歯ブラシなどで行ってください。
- ⊘ 浄水口には直接手や布巾で触れないでください。

使用上の注意事項 浄水カートリッジを大切にお使いいただくために

注意

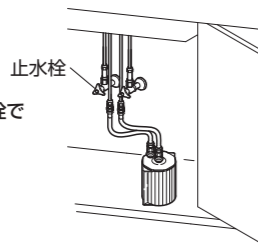
赤水など濁りのひどい時は、浄水カートリッジを通さずしばらく赤水を流してから浄水をご使用ください。



浄水カートリッジやホースの清掃にシンナー類や洗剤を使用しないでください。



水量が多すぎる場合、流し台下の止水栓で水量を調節してください。

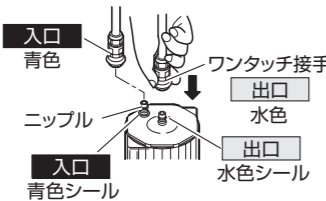


使用上の注意事項 浄水カートリッジの交換について

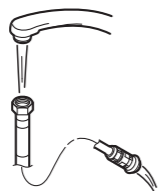
注意

浄水カートリッジは消耗品です。交換時期の目安を過ぎた時、または十分な水量が得られなくなったときは速やかに交換してください。取替時期の目安を経過した浄水カートリッジは十分な性能を得られない場合があります。また吐水量が減った状態で使い続けると、浄水カートリッジの目詰まりと水圧によって浄水カートリッジが破損するおそれがあります。

浄水カートリッジ接続の際は入口と出口を間違えないようにご注意ください。十分な性能が得られなくなったり、破損するおそれがあります。



浄水カートリッジ交換時にはホースを洗浄してください。また浄水に浮遊物が混入した場合はホースを洗浄してください。改善されない場合はホースを交換してください。ホース内に付着した水あかなどが浄水に混入するおそれがあります。



使用上の注意事項 浄水カートリッジ出口側からの細菌の繁殖について

おいしい水を得るために、浄水カートリッジは水道水中の残留塩素を除去します。しかしながら、本来殺菌のために入っている塩素を取り除くため長時間浄水の滞留が続いた場合、空気中の一般細菌が浄水口から侵入し、水道水基準値以上の一般細菌が繁殖することがあります。特にアンダーシンク型の浄水カートリッジは、残留塩素を除去した後の経路が長く浄水の滞留がおきやすいため、その傾向が強くなります。一般細菌が繁殖した場合、浄水口や浄水カートリッジと水栓をつなぐホースの内面に水あかとして付着する場合もあり、まれにこれが剥離流出して、浄水に浮遊物として混入する事があります。このような現象を回避するため以下の点にご注意ください。

注意

毎日のご使用前には十分な捨て水をしてからお使いください。

浄水口には直接手を触れたり、布巾で掃除したりしないでください。掃除の際には熱湯消毒などをした清潔な歯ブラシなどをお使いください。

食器や泥のついた野菜などを洗浄した後は、浄水口を熱湯消毒などをした清潔な歯ブラシなどで洗浄してください。

上記浮遊物の現象が見られた場合、接続ホースを洗浄、もしくは交換してください。

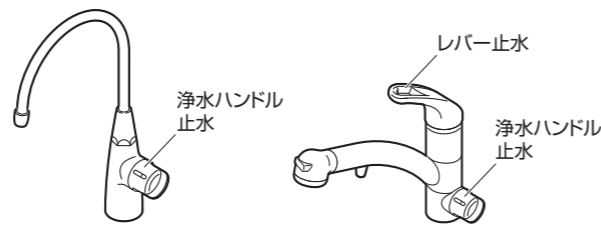
万一異常が見られた場合は、お買い求めの販売店または製造元までご連絡ください。

ご使用について 浄水カートリッジの取換え

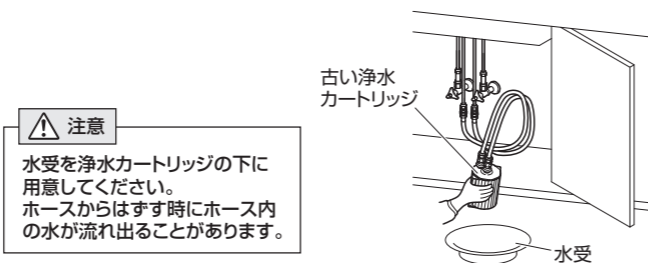
浄水カートリッジの交換時期は衛生面から約1年[110L/日(遊離残留塩素除去を対象)使用した場合]を目安としていますが、吐水量が減少したり、においや味がする場合は、取換えが必要です。

(注)除去対象物質によって交換時期は異なります。また、使用水量、水質によって取換えの目安が短くなることがあります。(参照：仕様 - ろ材の交換時期の目安)

1 水栓の浄水ハンドルおよび原水レバーを閉めて止水します。



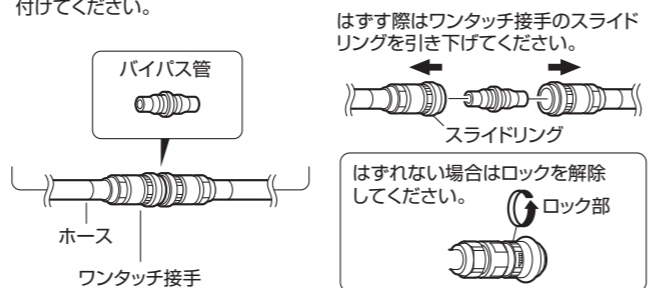
2 カウンター下から古い浄水カートリッジを引き出します。



注意
水受を浄水カートリッジの下に用意してください。ホースからはずす時にホース内の水が流れ出ることがあります。

新設後、初めて浄水カートリッジを取付ける場合

●設備の施工からご使用までに時間がかかる場合、浄水カートリッジに溜まる水の衛生を守るため、浄水カートリッジを取付けるかわりに出口側・入口側ホース同士をバイパス管で接続している場合があります。そのような場合はバイパス管をはずしてから浄水カートリッジを取付けてください。



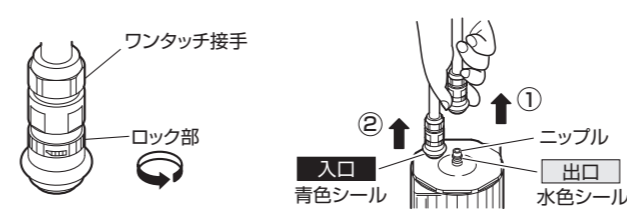
はずす際はワンタッチ接手のスライドリングを引き下げてください。

はずれない場合はロックを解除してください。

3 古い浄水カートリッジをはずします。

※取りはずしは出口側(水色)→入口側(青色)の順番に行ってください。

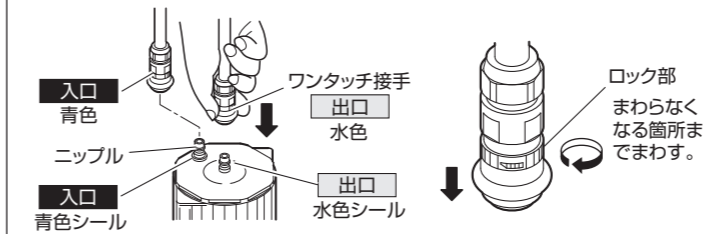
(1) ワンタッチ接手をロック解除にする。(2) ワンタッチ接手を浄水カートリッジのニップルからはずす。



4 新しい浄水カートリッジを取付けます。

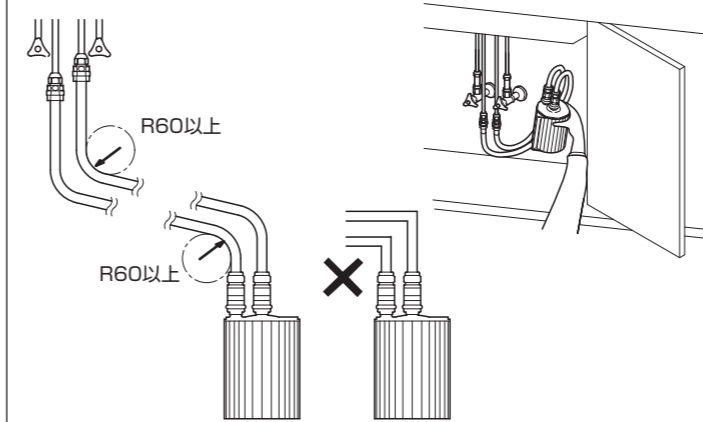
注意
浄水カートリッジとホースは出口側(水色)、入口側(青色)同士で接続してください。

(1) ワンタッチ接手を浄水カートリッジのニップルへカチッと音がするまで差し込む。(2) ワンタッチ接手をロック状態(抜け防止)にする。



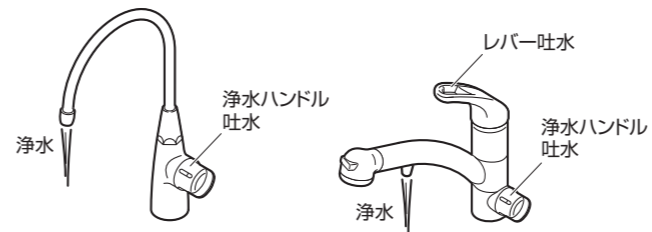
5 新しい浄水カートリッジをカウンター下に戻します。

注意
ホース施工上の注意点
●ホースがねじれないように置いてください。ホースがねじれると加圧した際、ホース接続部のゆるみの原因となります。
●ホースを曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。無理に曲げるとホースが破損し、漏水の原因になります。
●ホース両端部を極端に屈曲しないでください。



6 水栓の浄水ハンドルを開いて吐水し、作動および各接合部の水もれをチェックします。水もれがなければ完了です。

注意
●取付後、初めてお使いになる前は約3分以上浄水を放流してください。最初、浄水カートリッジ内の空気が抜けるため、泡沫状の水が出ますが異常ではありません。浄水カートリッジを振って、浄水カートリッジ内の空気を抜いてください。
●浄水止水後しばらく水滴が落ちますが、浄水カートリッジ内の残留水です。故障ではありません。
●水圧の高い所では、浄水の使用時に音がします。このような場合は吐水量を絞ってください。



こんなときは 故障? その前に

修理を依頼される前に、下の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
浄水量が少ない	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	水栓の浄水口のゴミづまりはないですか。	浄水口を掃除する。(設置している水栓の取扱説明書をご覧ください。)
	浄水カートリッジの寿命がきていませんか。	浄水カートリッジを交換する。
においや味がする	水栓の浄水口は清潔ですか。	浄水口を掃除する。(設置している水栓の取扱説明書をご覧ください。)
	浄水カートリッジの寿命がきていませんか。	浄水カートリッジを交換する。

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合や浄水カートリッジの取換えについてはお買上げの販売店(工事店)や下記に修理をご依頼ください。

仕様

材料の種類	ABS樹脂、ポリプロピレン		
ろ材の種類	活性炭、不織布、中空糸膜(ポリスルホン)		
ろ過流量	6.0L/分		
使用可能な最小動水圧	0.05MPa		
浄水能力	除去物質名		
	遊離残留塩素(総ろ過水量40000L、除去率80%、JIS S 3201試験結果) 濁り(総ろ過水量25000L、除去率80%、JIS S 3201試験結果) 溶解性鉛(総ろ過水量20000L、除去率80%、JIS S 3201試験結果)		
ろ材の交換時期の目安	1日当たりの使用水量		
	除去物質名	50L/日	100L/日
	遊離残留塩素	800日(約2年2ヶ月)	400日(約1年1ヶ月)
	濁り	500日(約1年3ヶ月)	250日(約7ヶ月)
溶解性鉛	400日(約1年1ヶ月)	200日(約6ヶ月)	
除去対象物質によって、交換時期は異なります。また、使用水量、水質によって取換え時期の目安が短くなることがあります。			

■お問合わせ先は

(株)三栄水栓製作所 本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問合せ先「カートリッジ係」

受付時間 平日9:00~17:30 土曜・日曜・祭日は休み

TEL ☎ 0120-06-9721 FAX (06)6972-5929

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp/cartridge/>